

川崎市立 川崎総合科学高等学校

創りたい未来を-
ここからはじめる。



- ・ 情報工学科
- ・ 総合電気科

- ・ 電子機械科
- ・ 建設工学科

- ・ デザイン科
- ・ 科学科

2026年度 学校案内

夢や希望を抱いて、
未来のスペシャリストとしての礎を築く



「専門の知識や技術を学んでチャレンジ」

本校は工業科5科（情報工学科、総合電気科、電子機械科、建設工学科、デザイン科）と理数科である科学科の合計6科を設置する専門高校です。それぞれの科が専門の知識や技術を習得するためにカリキュラムを編成し、先生方は生徒のみなさんにより高度な知識や技術を習得して卒業してもらえるように努力しています。生徒のみなさんには、自分の将来に目標をもって取り組んでいただき、自分たちが得た知識や技術を使って新しいことにチャレンジしてほしいと思っています。その一つ一つのチャレンジが、これからの社会を変えてくれるものと信じています。

校長 百瀬 実

川崎総合科学の6つの学科

制服



情報工学科

Trial(挑戦)
&
Error(失敗)
&
Learn(経験から学ぶ)



総合電気科

スマート社会、未来に繋ぐ



電子機械科

ワクワクする未来を創る



建設工学科

なりたい自分になる



デザイン科

将来のデザイナーや
クリエイターを目指します！

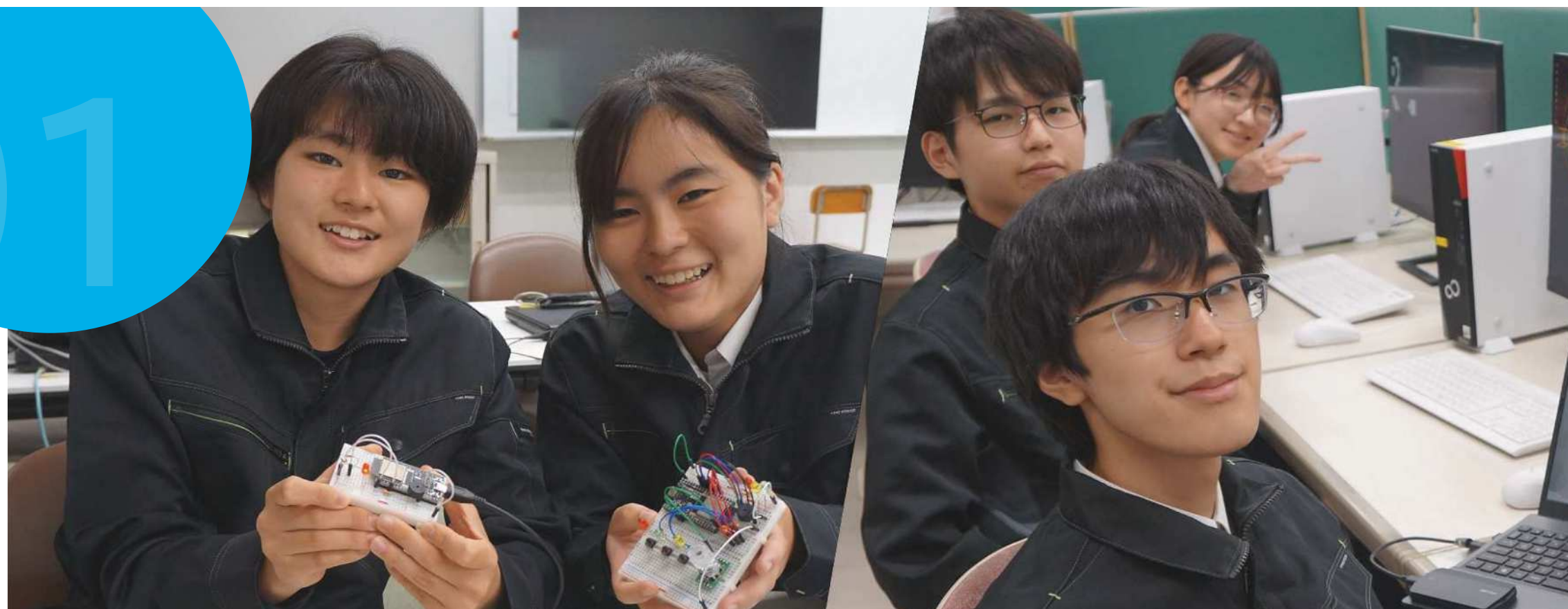


科学科

“探究”で未来を育てよう



イラスト デザイン科 泉 歩希



情報工学科の特色のある学び

■ソフトウェア技術

コンピュータを動かすために必要なオペレーティングシステムの基本的な機能や役割、操作方法などソフトウェアについて学習します。

■プログラミング技術

コンピュータに実行させる処理のアルゴリズムの考え方やC言語を用いたプログラミング技法・文法について学習します。

■ハードウェア技術

コンピュータの構成や各装置の機能、データ表現や論理回路などコンピュータの動作について学習します。

情報工学科

情報化社会のリーダーをめざして

情報工学科ではプログラミングを中心として、組み込み制御、ネットワーク、データベースといった分野を学習していきます。目的に応じたコンピュータの環境が整っており、資格取得にも積極的に取り組んでいます。

情報工学科では、Trial & Error & Learnという目標を掲げています。情報化が急速に進む社会で活躍するためには、自ら課題を発見し、学び続けることが必要です。プログラミングをはじめとした確かな技術力を養うために、挑戦することを大切に、その結果をもとに試行錯誤することで経験を力に変え、新たな課題に向き合う力を育んでまいります。このサイクルは、自分自身を大いに鍛えるとともに、学校行事や部活動といった学校生活にとどまらず、地域社会全体が抱える課題の解決にも大きな力を発揮し、役立つものと考えております。幅広い視野をもち、多くの事にTrial & Error & Learnする高校生活を一緒に過ごしましょう。

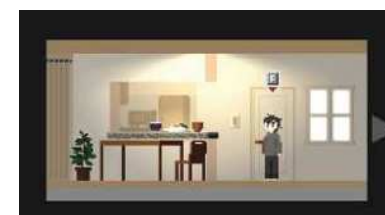


▲プログラミング実習



▲制御実習

情報工学科'S 課題研究



▲ドット絵アドベンチャーゲーム



▲課題研究



▲課題研究発表会

学んできた知識と技術を活かし、個々にテーマを決め、ハードウェアやソフトウェアの製作に取り組みます。

取得可能な資格

- ・情報技術検定 1 級
- ・情報技術検定 2 級
- ・応用情報技術者試験
- ・基本情報技術者試験
- ・情報セキュリティマネジメント試験
- ・IT パスポート試験
- ・ジュニアマイスター表彰
(ゴールド・シルバー・特別表彰)

イチオシPOINT

Windows や Linux、マイクログコンピュータなどを用いて3年間学習します。C言語をはじめとしてJavaやPython、VisualBasic、SQLといったあらゆる言語を通じてプログラミング能力を高めます。初心者でも大丈夫！コンピュータに精通したプロフェッショナルの指導のもと、一人前のエンジニアになるために巣立っていきます。

卒業生の声

高野 晃治

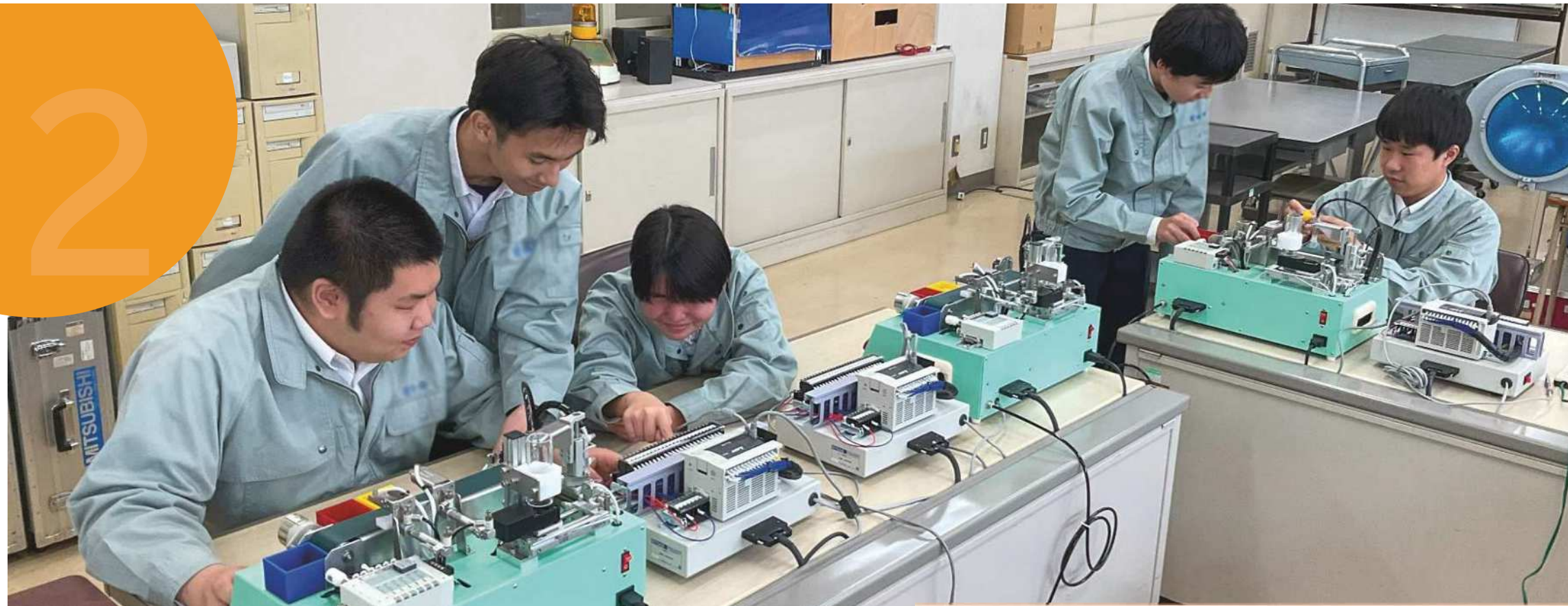
パーソナルプロセス&テクノロジー株式会社
プロセスデザインコース
エンジニアリングサービスグループ
東京都市大学 メディア情報学部
情報システム学科 卒業
(2020 年度 情報工学科 卒業)

東京都市大学メディア情報学部情報システム学科に所属していました。そこでは基本的なプログラミングスキルに加え、システム開発の知識を学んでいました。研究室では、機械学習とデータ解析に関する研究室に所属しており、データ解析をメインに研究していました。高校でC言語をはじめとした情報の知識を学べたお陰もあり、大学での勉強に対してスムーズに取り組むことが出来ました。

高校時代はクラスで学級委員を務め、文化祭でのクラス企画や日々の活動において中心となって活動していました。また軽音楽部に所属し、部長として活動していました。

先生方（特にクラス担任）とはよく企画や日々の生活のなかでとてもご迷惑をおかけしましたが、それでも生徒に対して真摯に向き合ってくださいました先生方に囲まれ、支えて頂き、卒業した今でも尊敬出来る方々と出会えたと思います。





総合電気科の特色のある学び

■実習

電車や車のモーター、電気を作る発電機の仕組み、通信機器やロボットを動かす回路や制御プログラムを学習します。

■工業技術基礎

計測・プログラミング・電気工事・電子工作などの基礎的な実習を行い、2・3年生の実習や課題研究に繋がります。

■資格取得対策

国家資格「第二種電気工事士」の合格を目指し、その対策として、試験前には放課後などを使い講習会を行います。

総合電気科

未来を担う、力に繋げる

総合電気科では電気・電子・情報・通信に関する基礎的な知識と技術の習得を目指しています。

私たちが生活するこの社会にとって電気、電子、情報、通信は欠かすことができないものです。普段は当たり前にご利用していますが、事故や災害で利用できなくなることを想像するとその重要性が分かります。その大切な電気・電子・情報・通信について学ぶ科が『総合電気科』です。

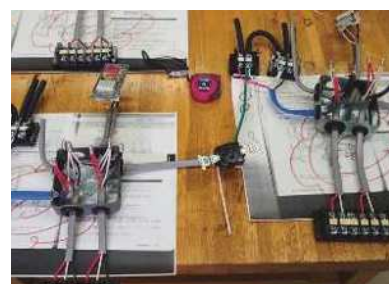
1年生では電気の基礎・基本から学習し、2年生ではそれを進め、3年生ではさらに深めるとともに生徒の興味関心や卒業後の進路を考え選択科目も交え学習していきます。

教室で座ったまま教わるものばかりではありません。1年生から始まる「工業技術基礎(実習)」や3年生で加わる「課題研究」は少人数で体験的に知識や技術を身につける形になります。

また、関連する国家資格の案内も行っており、中でも「第二種電気工事士」については資格取得を勧めています。資格を取得することにより身につけた知識と技術が社会から認められ確かな自信につながります。ぜひ『総合電気科』で一緒に学びましょう。



▲基板加工機実習



▲電気工事実習



▲電気機器実習

総合電気科'S 課題研究



▲スマートハウス製作



▲電動車椅子製作



1年間の研究テーマを自分で決め、電気電子関係のものづくりや研究を行います。最後に研究の発表会を行います。

取得可能な資格

- ・電気工事士（第一種・第二種）
- ・2級電気工事施工管理技術検定
- ・工事担任者
- ・第三種電気主任技術者
- ・消防設備士乙種7類
- ・計算技術検定（3級）
- ・危険物取扱者乙種4類
- ・アマチュア無線（3、4級）
- ・高所作業車

イチオシPOINT

総合電気科では少人数の授業、最新計測器を使用するなど実践的な学びに力を入れています。また、早い段階から将来の進路について指導を行っています。担任と科の職員との面談を実施し、進路についてのアドバイスなど、きめ細かい進路指導を行っております。就職希望者の内定率はほぼ100%です！

卒業生の声

江島 旭

一般財団法人 関東電気保安協会
(2020年度 総合電気科 卒業)

私は電気をお客様が安全にご利用いただくために点検、保守を行っています。お客様の電気設備に赴き、『正常な状態を保っているか？目には見えにくい異常などがないか？』を探し見つけています。いわば、停電が起こる前にそれを未然に防ぐため普段から目を光らせる仕事です。また、お客様に電気を効率よく利用していただくために『電気のプロフェッショナル』として、相談された困り事や悩み事について解決するのも大切な仕事です。壊れてしまう前に原因を見つけ出し、より良い使い方を提案します。そのためには総合電気科で学んだ幅広い知識をさらに深め、自分の経験としさらに成長するため日々頑張っています！





電子機械科の特色のある学び

■メカトロ実践（ミニ四駆の製作）

3人1組でミニ四駆の難関コースに挑みますが、早く走らせるためにはどうしたら良いかを工学的に研究します。PDCAサイクル、グループワークを行い、課題を見つけ解決する力を身につけます。

■実習（CAD/CAM）

3次元CADで立体モデルを作成し、CAMソフトを用いてマシニングセンタによる高速加工技術や3Dプリンタによる造形技術を体験的に学ぶことができます。

■製図（3年）

1人ひとりが、設定された課題に対して調査・研究し、3次元CADを用いて治具の設計製図を行い、問題解決能力を身につけます。

電子機械科

ものづくりの精神

電子機械とはメカトロニクス、つまり電子と機械、情報などの知識・技術を融合した技術分野のことをいいます。それらは代表的であるロボットだけではなく、自動車や電気製品など様々な製品に応用されています。

電子機械科では、電子・機械・情報分野を座学や実習を通して幅広く勉強します。ロボット実習を例に挙げると、コンピュータによる設計、各種工作機械による製作、電子基板づくり、プログラミングによる制御とロボットに関わるすべてを学ぶことができます。

ものづくりを学びたい生徒のための最適な環境がしっかりと整っています。充実した工作機械を備えた全国でもトップクラスの施設を使用し、思う存分ものづくりに没れる3年間を過ごすことができます。



▲メカトロ実践



▲工業技術基礎（エンジン分解組立）



▲製図（3年）

電子機械科'S課題研究



▲電動スクーター



▲電動スケートボード

電子機械科で学んだ技術・技能を活かし、自分たちで考えた一つの研究テーマに沿って、作品の開発・製作を行っています。

取得可能な資格

- ・計算技術検定（1・2・3級）
- ・情報技術検定（1・2級）
- ・危険物取扱者乙種4類
- ・アーク溶接特別教育
- ・ガス溶接技能講習
- ・3級技能士検定（普通旋盤）
- ・ボイラー取扱技能講習
- ・基礎製図検定
- ・機械製図検定
- ・数学検定（2・準2級）

イチオシPOINT

少人数制の授業で、特に実習などは1班8名編成で2名の先生が担当します。大きな工作機械の操作や危険を伴う作業でも安心して取り組むことができます。

実習で使用する3Dプリンタ、マシニングセンタ、レーザー加工機等の工作機械は全国でもトップクラスの充実度。思う存分ものづくりに取り組める環境が揃っています！

卒業生の声

金内 勇成

NECスペーステクノロジー株式会社
生産本部機器製造検査部
(2020年度 電子機械科 卒業)

私の会社は人工衛星および宇宙ロボット搭載機器の開発・組み立て・試験を行っています。その中で私は機器製造検査部に所属し、基板実装という業務を担当しています。プリント基板へのハンダ付けや接着作業などを行いますが、ロケットの限られたスペースに収めるために顕微鏡を使用した精密な作業や、宇宙という過酷な環境に耐えるための正確な作業などとても高い技術が求められます。日本の宇宙開発に貢献できるとてもやりがいのある仕事です。





建設工学科の特色のある学び

■測量実習

土木・建築どちらの現場でも使用する測量機器。使えるようになることはもちろん、遠くの仲間と連携し作業を進めることで、現場に必要なスキルを養います。

■CAD 実習

図面はCAD(PC)で描く時代。AutoCADに加え、都市システムコースではV-nasClair(土木専用)CADを使用します。神奈川県内の高校でV-nasClairが導入されているのは本校のみです。

■実習

建築デザインコースでは、卒業後の建築士取得へ向けて2級建築士に試験に即した授業を行います。過去に出題された課題から同じ用紙を使用し設計します。

建設工学科

不易流行の精神のもと知力・徳力・胆力を高め
社会に貢献する人財を育成する

人工知能、ロボティクスの急激な進化・発達、超高齢化社会、人口減少といった今までに経験したことがない社会の到来で産業構造も大きく変革するといわれています。この大変革の中、産業界を支え活躍できる人財を育むため建設工学科では下記の項目を重視し教科指導、生徒指導、進路指導をしています。

- ① 課題設定力・目的設定力
- ② データ分析・活用力
- ③ コミュニケーション能力
- ④ 分野を超えた専門知識や技能を組み合わせる実践力
- ⑤ リーダーになる資質

具体的には、測量、製図、CADを柱とし施工管理技士、建築士、測量士、民間就職、公務員、上級学校などの幅広い進路実現が可能なカリキュラムを編成しています。各実験、実習を通して、産業界に必要な専門スキルの向上と職業観を体得することを目指しています。

夢を叶えたい、自分の想いをかたちにしたい、そんな方はぜひ建設工学科へ



▲測量実習

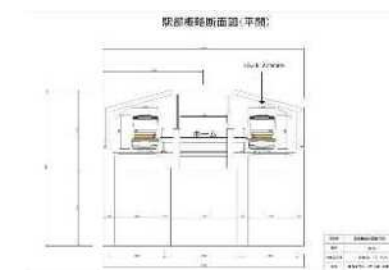


▲木工実習



▲造形実習

建設工学科'S 課題研究



▲南武線高架化計画



▲廃校利用による地域活性化

建設業は人々が利用する施設やインフラを手掛ける責任ある仕事です。人々のために働くエンジニアには何が必要なのか。それを考えるため「地域貢献」をテーマに各自研究します。



取得可能な資格

- ・技術士補
- ・建築施工管理技士補 2級
- ・土木施工管理技士補 2級
- ・管工事施工管理技士補
- ・測量士補
- ・建築士受験資格(卒業後)
- ・大工技能検定 3級・2級
- ・建築CAD検定

イチオシPOINT

1年生では建設の基礎的な学習に取り組みます。工業技術基礎では、土木と建築で4つのテーマを設けており、自分がどちらに興味があるのか考える要素となります。2年生より専門性を高めるため、各コースに分かれ知識技術を習得します。土木を学ぶ「都市システムコース」では測量を、建築を学ぶ「建築デザインコース」では設計製図に重点を置いています。

卒業生の声

松本 来輝

日特建設株式会社

(2025年度 建設工学科都市システムコース卒)

高校生活で一番印象に残っているのは、野球部で仲間と過ごした時間です。練習は大変なこともありましたが、仲間と支え合いながら充実した3年間を過ごすことができました。

また、建設科ならではの総科際も思い出に残っています。メリーゴーランドやプロレスリング、ジェットコースターなどをクラスで協力して制作し、ものづくりの楽しさや達成感を味わうことができました。

現在は、法面工事を中心に行う会社で研修をしています。安全についての基礎や施工管理について学びながら、現場で必要となる知識を身につけているところです。特殊土木の分野では高い技術力を持っており、自然災害から人々の暮らしを守る仕事に魅力を感じています。これからも多くのことを学び社会に貢献できるよう努力していきます。





デザイン科の特色のある学び

■デッサン

全ての造形活動の基礎となる描写能力・集中力を3年間かけて育成しています。物や空間の形と構造を観察し、画用紙と鉛筆で写実的に描画します。

■実習

現代のデザインの仕事はデジタル化されています。本校では特にグラフィックデザインや3DCG、Webデザイン、映像制作の分野には時間をかけて習熟できるようIT技術を活用した授業を展開しています。

■プロダクトデザイン

身の回りの製品の用途や使用方法を捉え直し、機能的で美しいデザインに導けるよう構想・計画して制作します。

■プレゼンテーション

社会や生活のなかの不具合や問題点に気づき、それらをデザインを通じて改善する仕方を考えます。できたアイデアは効果的な実演や機材等を使って発表を行います。

デザイン科

”つくる、つたえる、つながる”

～デザインで夢を形にする、デザインで世界を変える～

デザイン科では”つくる、つたえる、つながる”をキーワードに絵画、デッサン、色彩、平面、立体、情報技術、写真など、まず美術やデザインのあらゆる分野に通じる基礎を学びます。2年次以降は将来の仕事につながる各デザイン分野の実習科目を開設しています。中でもポスター・パッケージ・本などの印刷物、Webデザイン、映像を制作する実習にはIT技術やCG（コンピュータグラフィックス）の表現技術を活用し、手作業からデジタルまで通じる創造性の育成に力を入れています。

通常の授業以外にも、美術館やグッドデザイン展などの校外見学や、活躍するデザイナーを招いた外部講師講演、外部依頼のデザイン制作にも取り組み、同じ目標を持った個性ある仲間たちと切磋琢磨しながら、希望の進路が実現できるようサポートしています。



▲工業技術基礎



▲映像実習



▲デッサンB

デザイン科'S 課題研究



▲作品展会場



▲展覧会の課題研究作品



3年間の集大成となるよう個別にテーマを設定し、作品制作やデザイン提案、企画などを行い、展示や発表をします。

取得可能な資格

- ・レタリング技能検定
1級・2級・3級
- ・CGクリエイター検定
ベーシック・エキスパート
- ・Illustrator クリエイター
スタンダード・エキスパート
- ・Photoshop クリエイター
スタンダード・エキスパート
- ・グラフィックデザイン検定
2級

イチオシPOINT

”描きたい、つくりたい”という意識を高め、実現させるため時代に対応した指導を行っています。

プロのデザイナーやクリエイターが使用するAdobe社のソフトウェアやApple社のiMac、iPadを一人1台使える環境を揃えています。オンデマンド型カラー印刷機でフルカラーの授業資料配布や作品のプリント、製本が可能です。立体的な作品制作のための機材や工具類も充実しています。

卒業生の声

白濱 凜

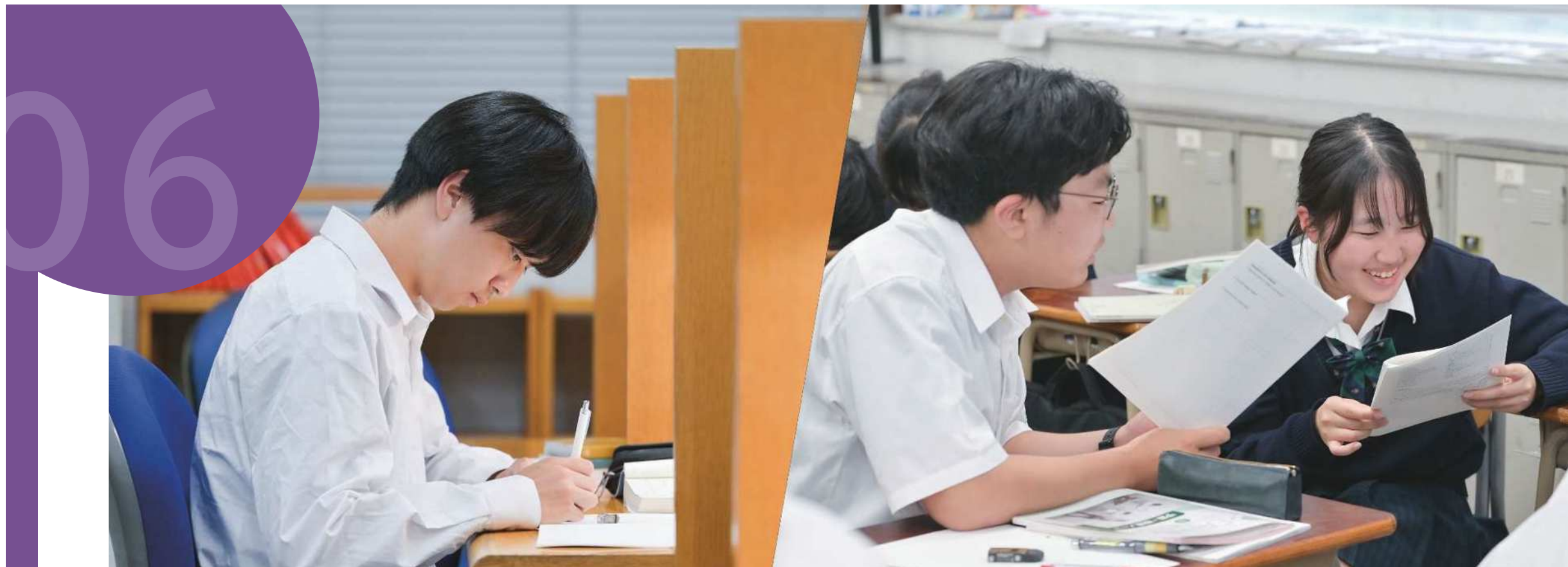
桑沢デザイン研究所

昼間部総合デザイン学科 ビジュアルデザイン専攻
(2023年度 デザイン科 卒業)

川崎総合科学の魅力は、学ぶデザインの幅が驚くほど広いことだと思います。高校時代の3年間は、夢中で手を動かし続ける毎日でした。デジタル系の制作から、プロダクト系の立体物、本格的な印刷物まであらゆるデザインを基礎から経験することができました！授業もとても楽しかった記憶があります！高校で身につけた技能は、デザイン系の専門学校に進学した今でも役に立っています。

現在は、高校時代の貯金があるおかげでより高いレベルの表現に挑戦できています。何より、この学校は「自分のことが好きになれる」場所だと思います！日々の課題をこなしていく中で、なりたいたい自分に近づいていく実感が持てました。自信をつけたい人、好きな自分を見つけない人には最高の環境だと思います！！





科学科の特色のある学び

■理数数学（Ⅰ・Ⅱ）

高校で学ぶ数学の内容を発展的、系統的に学びます。学習内容を柔軟に組みかえています。

■物理研究・化学研究・生物研究

大学入試に向け実践的な演習を行っています。また、今まで学んだ知識を活用し、実験の計画を立てたり、最新の研究を調べて知見を深めるなどの活動を行います。

■理数探究基礎・理数探究

1、2年生では理数探究基礎、3年生で理数探究を行っています。研究活動の基本を学んだ後、課題を設定して研究を行います。

科学科

有意義な高校生活を送るために

科学科は1学年1クラスという少人数制を活かし、「学びあう 教えあう 助けあう」の合言葉のもと、理系難関大学への進学を目標にしています。また科学科は英語・数学・理科の授業時間を豊富に設け、早い段階での入試対策を心がけています。個々に応じたきめ細やかな指導に当たることで、一人一人が充実した生活を送れるよう科学科担当教員が中心となり生徒を支援しています。

科学科は学習理念として、次の4本の柱を掲げています。

1. 3年間を計画的に活用し、真の実力を養成する
2. 進学に必要な情報を的確に提供する
3. 自己の将来像を明確化し、進学目標の具体化を促進する
4. 豊かな人間関係から、目標達成への推進力を育てる



▲物理研究



▲理数数学Ⅰ



▲理数探究

科学科'S 理数探究



▲研究・実験



▲研究発表



自分の興味関心から課題を決め、実験等を通して深い研究活動を行います。

科学科ならではの取組

■7時間授業

週3回（火・木・金）、7時間目授業があります。理数科目をより多く学び、入試に向けた実力を養成します。

■夏期学習合宿

毎年1・2年生を対象に3泊4日の日程で行われています。自学自習の姿勢を育てることを目標としています。

イチオシPOINT

手厚い指導とそれぞれの興味のある分野の探究活動が充実しています。多くの卒業生や大学生チューターを招いてアドバイスを行う機会も多いです。専用の自習室があるので、自習の習慣が身に付きます。進路面談や文化講演会などにも力を入れています。

卒業生の声

青木 優空

横浜国立大学 理工学部
数物・電子情報系学科 物理工学 EP
(2022年度 科学科 卒業)

私は、物理工学EPで力学はもちろんのこと、電磁気学や量子力学などを学んでいます。高校物理での説明に矛盾があった現象について理解できたり、うまく説明できていなかった理論がより深まったりするので、物理の基礎学問の強固さを感じます。

基本は理学系の授業が中心ですが、高学年では固体物理学や電子デバイスなどの工学的な物理の応用も学べます。

また、物理工学EPは他の大学の物理学科よりも実験に力を入れていて、特に大学2年生までは毎学期に実験がありました。数多くの実験とそれに伴うレポートを通して、物理に関する諸理論や実験レポートの体裁やマナーを学び、考察する力を養っています。



多彩な取り組み

体験型学習 & 企業訪問

01/情報工学科

体験型英語学習 TGGに参加、企業訪問（富士通）や大学訪問を行い、川崎市と慶應義塾大学が実施する「プログラミング×AI×ドローン」講座など、実践力を養う活動をしています。



就職 & 進学サポート

04/建設工学科

建設系の公務員を目指す人を対象に、朝や放課後の時間に学習会を実施しています。合格・就職先は、国土交通省、東京都、川崎市、横浜市、神奈川県内広域水道企業団などです。



資格取得

02/総合電気科

取得が難しいといわれている「第二種電気工事士」の資格取得のため、放課後講習会を行っています。



05/デザイン科

毎年様々な依頼を受け、地域連携活動に力を入れています。川崎市政だよりの特別号に使われる川崎の未来をイメージしたイラストを制作したり季節ごとに駅前広場を彩る造形物を設置したりしています。



06/科学科

大学の研究室を訪れ実際に講義を受け、さらに研究機関訪問では、グループに分かれ、研究者に色々な質問をして学びを深めます。



06/科学科

夏の期間で学習合宿を行います。自学自習も含めて1日10時間の学習を行い、自学自習の習慣や苦手分野を克服する有意義な時間となっています。



地域連携活動

03/電子機械科

NECプロボノ倶楽部と一緒に「共創開発でのオンラインポッチャの普及、川崎から世界へ共生社会実現の挑戦」を行いました。この社会人と高校生による協働・連携は、川崎市SDGs賞を受賞！



04/建設工学科

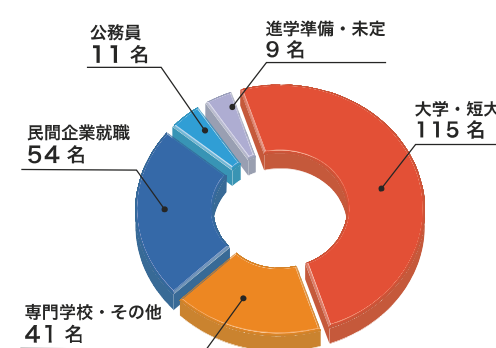
川崎市100周年の緑化フェアと連携し、休憩スペースのデザインを行ったり、今抱えている道路の問題などを市と話し合い、どうすればより良い川崎市になるかを考えました。



進学も就職も！！

KSTでは個に応じた丁寧な指導に取り組んでいます

R7年度の卒業後の進路



進学

≫ 興味関心×専門学科での学び=高い専門性

工業科は3年間の学びで得た高い専門性を武器に、多くの生徒が総合型選抜・学校推薦型選抜で進学しています。科学科は大半の生徒が一般選抜でチャレンジしています。指定校推薦は「四工大」をはじめ、東京理科大、学習院大、東洋大など、120を超える大学からいただいています。

就職

≫ 求人数は求職者の約80倍以上！

昨年度は約4500の求人をいただいております、その数は求職者の約80倍以上に上ります。近年は公務員試験（技術系職員）においても多くの合格者を輩出しています。

進路行事

本校では入学直後から進路実現に向けて切れ目のない指導を行っております。その一例を紹介します。

「学校見学・企業見学」（1・2年次3月実施）：生徒は約30の学校・企業の中から一校（一社）を選んで見学に行きます。実際に足を運んで分かることも多く、生徒満足度は98%に上ります。この他にも、各科ごとに学校見学・企業見学を実施し、進路先への理解を深めていきます。

「志望理由書の作成」（1年次3月～2年次9月 / 3年次6月～7月）：本校の進路指導は「書く力・話す力の育成」に重点を置いています。自己理解を深め、進路希望を具体化するため、2年次から本格的に志望理由書の作成に取り組みます。

「面接練習」（3年次5月～11月実施）：進学・就職を問わず、面接試験受験者には丁寧な指導を行い、話す力の育成に取り組んでいます。9～11月には全職員が面接官役となって模擬面接を実施し、生徒が自信を持って本番に臨めるように支援しています。

主な進路先

※（ ）内は過去5年間の進学・就職者数 青字は国公立



情報工学科

【大学】
神奈川 (7) 神奈川工科 (19) 関東学院 (4)
芝浦工業 専修 (25) 東海 (23)
東京工科 (11) 東京工芸 (11)
東京電機 (13) 東京都市 (11)
【就職】
警視庁 日立ソリューションズ東日本 (2)
富士ソフト (2) 東芝電波テクノロジー (2)



総合電気科

【大学】
筑波 神奈川 (8) 神奈川工科 (10)
成城 東京工科 (2) 東京電機 (3)
東京都市 (3)
【就職】
関電工 (6) さんでん (6) 三興電機 (4)
東海旅客鉄道 (5) 東芝エレベータ (5)
京急電機 (4) 東京電力パワーグリッド (4)
NTT 東日本・南関東 (3)
三菱電機ビルテクノサービス (4)



電子機械科

【大学】
横浜国立 豊橋技術科学 神奈川 (18)
東海 (3) 東京工科 (6) 東京電機 (5)
東京都市 (8)
【就職】
日本電気 (NEC) (4) 三菱電機 (9)
ジャパンマリンユナイテッド (3)
東京精密 (5) いすゞ自動車 (4) 花王 (3)
SUBARU (6) 東海旅客鉄道 キヤノン
TMEIC (2) 富士電機 (2)



建設工学科

【大学】
横浜国立 (2) 神奈川 (19) 関東学院 (5)
国土館 (2) 東海 (10) 東京都市 (4)
日本 (6)
【就職】
国土交通省 (13) 川崎市 (3) 横浜市 (5)
東京都 日特建設 (7) 小田急電鉄 (4)
NEXCO 東日本 (3) 東京電力パワーグリッド
JR 東海 鹿島建設 (2) 大和ハウス工業 (3)



デザイン科

【大学】
横浜国立 (7) 長岡造形 東京藝術
女子美術 (15) 多摩美術 (12) 東京工芸 (11)
東京造形 (32) 日本 (5) 武蔵野美術 (10)
【専門学校】
桑沢デザイン研究所 (12)
【就職】
エスケー化研 信号器材 京セラ SOC
川崎市（行政事務）



科学科

【大学】
茨城 熊本 埼玉 (2) 静岡 信州 (3)
千葉 (2) 電気通信 (3) 東京科学
東京学芸 東京都立 (2) 東京農工 (6)
東北 (2) 新潟 広島 横浜国立 (4)
横浜国立 (4) 青山学院 (2)
慶應義塾 (2) 工学院 芝浦工業 (6)
上智 (2) 中央 (7) 東京電機 (3)
東京都市 (6) 東京農業 (3) 東京理科 (4)
法政 (3) 明治 (5) 立教 (2) 早稲田 (2)

年間行事

1年を通じて、本校ならではの行事が設けられています。科の垣根を超えて活動できる体育祭や総科祭（文化祭）は生徒会の生徒が中心に企画・運営しています。

- 4 始業式
入学式
新入生オリエンテーション
新入生歓迎行事
遠足
- 5 体育祭
- 6 第1回定期考査
進路ガイダンス
前期生徒総会
校外見学
- 7 大学訪問（科学科1・2学年）
施設見学
集中授業（科学科）
実技講習（デザイン科）
学習合宿（科学科1・2学年）
- 8
- 9 防災訓練
第2回定期考査
- 10 総科祭（文化祭）
修学旅行（2学年）
- 11 マラソン大会
卒業生との懇談会（2学年）
生徒会選挙
- 12 第3回定期考査
後期生徒総会
- 1 デザイン科作品展
- 2 校内課題研究発表会
学年末考査（1・2学年）
- 3 三送会
卒業式



部活動

生徒の多くが部活動に参加し、充実した活動を行っています。
また、工業科の特色を生かしたユニークな部活もあり、様々な大会に出場しています。



運動系

サッカー部
ソフトテニス部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部
空手道部
剣道部
柔道部
卓球部
硬式野球部
男子バスケットボール部
陸上競技部
硬式テニス同好会
だんす同好会

文化系

吹奏楽部
写真部
美術部
パソコン部
極音部
テクノクラフト部
競技かるた部
茶道部
科学部
軽音楽部
グラフィックアート部
放送部
新聞部
シビルエンジニア部
ボランティア部
ハンドメイド同好会
理数探究同好会
意匠探求同好会
演劇同好会
建築研究同好会
映像制作同好会
文芸・民族同好会
鉄道研究同好会

祝 東京ヤクルトスワローズ育成ドラフト1位指名

硬式野球部



小宮 悠瞳
(R7年度 建設工学科卒業)

令和7年度、本校野球部の小宮悠瞳が2025プロ野球ドラフト会議において東京ヤクルトスワローズから育成1位で指名を受けました。5月20日には初の実戦登板に臨み、球速は在学時代から約5キロアップの147キロ。現在は、1軍を目指して頑張っています。皆様も是非ご声援お願いいたします。

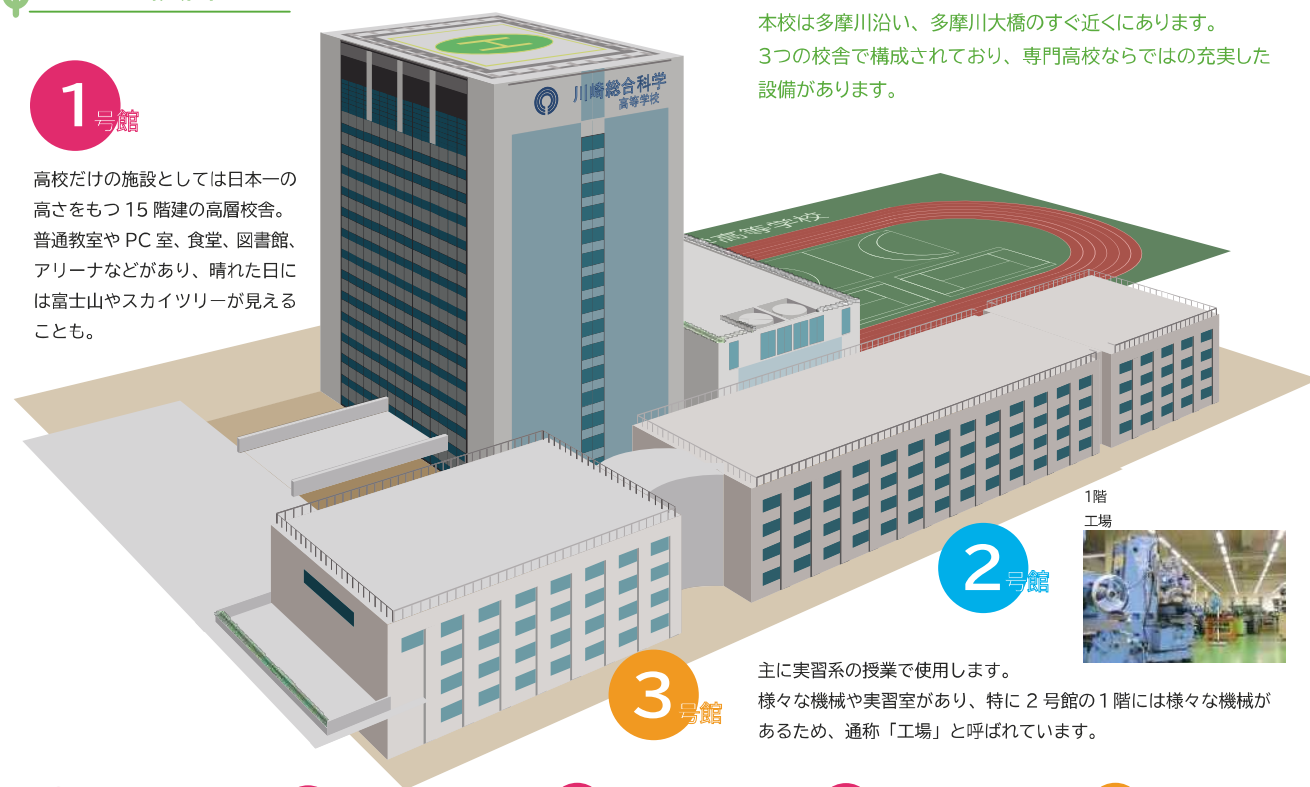


川総の生活

Q どんな校舎??

1号館

高校だけの施設としては日本一の高さをもつ15階建の高層校舎。普通教室やPC室、食堂、図書館、アリーナなどがあり、晴れた日には富士山やスカイツリーが見えることも。



本校は多摩川沿い、多摩川大橋のすぐ近くに 있습니다。3つの校舎で構成されており、専門高校ならではの充実した設備があります。

2号館



主に実習系の授業で使用します。様々な機械や実習室があり、特に2号館の1階には様々な機械があるため、通称「工場」と呼ばれています。

3号館

1

各クラスの教室で7階～11階。学年、学科によって階が変わります。



1

定食、丼もの、カレーなど毎日変わるメニューをワンコインで楽しめます。



1

専門高校ならではの専門的な本を揃えています。漫画コーナーもありますよ。



1

体育の授業や部活動で使用します。公式試合も行えるアリーナです。



3

木材の様々な加工ができるように機械がそろっています。



Q 校訓は??

「誠実・勤勉・強健」が本校の校訓です。

あわせて

「夢や希望を抱いて未来のスペシャリストとしての礎を築く」をスローガンに、学習や学校行事、部活動に力を入れています。

また、本校を卒業するまでに身につけて欲しい力を

「KAWASAKI CITY HIGH SCHOOL FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY GRADUATION POLICY」略して **KSTGP**

として掲げ、普段の生活や学校行事、部活動などを定期的に振り返りを行い、右のような力を育てていくことを目標としています。



Q 生徒の1日は??

5:00	睡眠	とある3年生 Aさん
6:00	朝の準備	学科：情報工学
7:00	通学	部活動：バドミントン部
8:00	課題や宿題	自宅：小田原市
9:00		
10:00	授業	1年生の頃はこの生活に慣れるのに精一杯でしたが、3年生の今では家での時間も課題や勉強に充てられるようになりました。朝は電車が混むので早目に家を出ています。早目に学校に着くので、朝の時間を有効に活用できます。
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00	部活動	
17:00		
18:00	通学	
19:00	夕食やお風呂	
20:00	課題や宿題	
21:00	睡眠	



5:00	睡眠	とある2年生 Bさん
6:00	朝の準備	学科：電子機械
7:00	通学	部活動：なし
8:00		自宅：川崎市
9:00		
10:00	授業	宿題があるので、学習習慣はついていると思います。学校生活では友達と趣味の話や何気ない話をして、時が一番楽しいです。放課後も友達と相談したりご飯に行ったりと助けられることが多いので、交友関係を大切にしています。
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00	部活動	
16:00	通学	
17:00	趣味	
18:00	夕食やお風呂	
19:00	趣味	
20:00	課題や宿題	
21:00	睡眠	

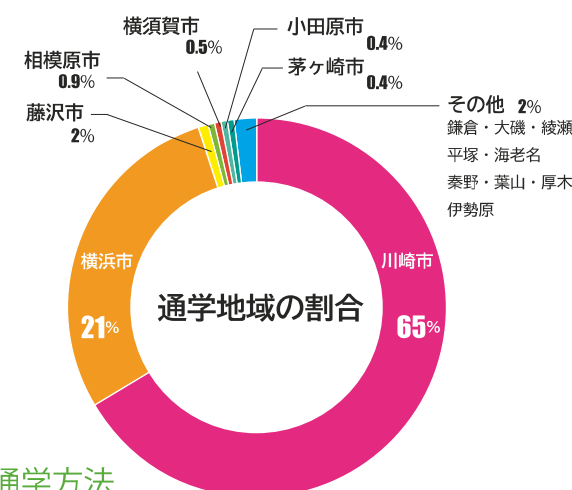


Q 食堂の人気メニューは??

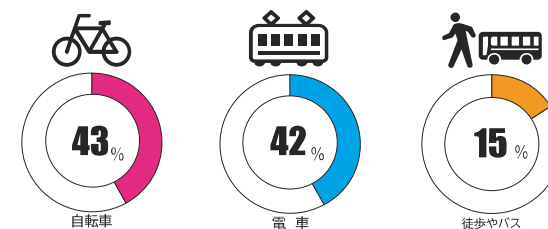
ラーメンや丼ものが人気です。カレーや日替わり弁当のバリエーションも多くボリュームたっぷりです！食堂前ではパンやお菓子の販売もあります



Q みんなどこから通学してる??



通学方法



Q 盛り上がる行事は??

文化祭（総科祭）です！4月にはクラスで企画の話し合いをし、それぞれの学科で得意分野を活かしながら団結して作り上げていくので達成感があります。また有志団体も参加するので、学科を跨いで大きなものを作ることができます。普段話さない人とも交流できます！



Q 普通科の学校と違うとを感じることは??

・男女比が大きく違うけど気にならないです。
・色んな教室が多いし職員室も多いです。
・ものづくりに興味がある仲間が多いので話がマニアックです。
・本格的なものづくりができる部活があって楽しいです。



Q 専門学科の先生ってどんな感じ??

・個性的な先生ばかりでお話がとても面白いです。それぞれの分野の知識が豊富で、基本的なことから豆知識のようなことまでたくさん授業で学べます。
・まず技術が凄い。また様々なキャリアを積んできた先生が多いので、何か進路で困った時は相談してみましよう。1つの質問に10で返ってきます！



